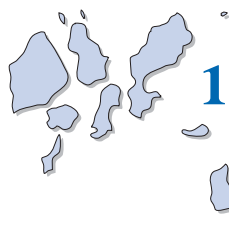


上島町



11月6日

～12月17日

地方自治法施行60周年記念 総務大臣表彰受賞（上島町）！

11月20日、東京国際フォーラムにおいて地方自治法施行60周年記念総務大臣表彰の受賞式が行われました。式典には上島町長が出席し、天皇皇后両陛下を仰ぎお言葉を賜り、三権の長からご祝辞をいただきました。

この表彰は、自らの創意工夫により、優れた施策を実施し、地方自治の充実発展に寄与した市町村に対して贈られるもので、長年の諸先輩方や先人のご尽力があり、上島町が受賞しました。



上島町選挙管理委員会委員長衣川長利さん 参議院議員通常選挙総務大臣表彰受賞

12月17日、愛媛県庁において上島町選挙管理委員会委員長の衣川長利さんが参議院議員通常選挙総務大臣表彰を受賞されました。

これは、平成19年7月29日執行の参議院議員通常選挙において、上島町が県内トップの投票率となり、有権者に対する投票参加の呼びかけや、選挙事務の管理執行などの多大な貢献が認められたものです。町民の皆さん、これからも選挙には必ず投票しましょう。



『安全で 安心な 地域づくり』の実現に向けて！ 上島町児童生徒をまもり育てる協議会開催

11月20日、上島町弓削地域交流センターにおいて、「平成19年度上島町児童生徒をまもり育てる協議会」が開催されました。

本協議会は、児童生徒の健全育成の推進、安全の確保、いじめ問題や不登校、非行問題等の解決のために、地域ぐるみの推進体制及びネットワークの構築を目指して設置された組織で、学校関係者をはじめ、PTA・各地域のスクールガードリーダー・主任児童委員・人権擁護委員・警察関係者などで構成されています。当日は、児童生徒の安全確保やいじめ問題について、学校での現状や取組について報告があり、今後の対策等について活発に意見が交わされました。

近年、子どもたちを取り巻く環境は大きく変化してきており、それに伴い児童、生徒が犠牲となる痛ましい事件、事故が全国各地で数多く発生しております。絶対起きてはならないことですが、「どの地域においても、どの学校においても起こりうる。」という危機意識を持って、行政はもちろん、学校、保護者、地域が連携し、子どもたちにとって、安全で安心な学校づくり、地域づくりに取り組んでいかなければなりません。

現在、校区ごとに見守り隊を結成し、「児童生徒をまもり育てる日」には、学校関係者、PTA、交通安全協会、駐在所員、スクールガードリーダーらが子どもたちの見守りを実施すると共に、青色パトカー等で巡回し子どもたちの安全確保に努めています。

また、定期的に登下校指導も行っています。

一人でも多くの方に子どもたちに関心をもっていただき、安全で安心な地域づくりにご協力をお願いします。

なお、子どもたちや学校に関することで気になる点がございましたら、お気軽に上島町教育委員会へご連絡ください。



会議の様子！

観光フランド創造事業 青いレモンの香りフェアin東京

11月9日～11日に東京新橋「香川・愛媛せとうち旬彩館」、11月12・13日に東京下北沢「COS下北沢（NPO団体）」において、上島町の特産品紹介、観光PR活動などのキャンペーンを行いました。

今回は岩城・生名漁協が初参加し、車えびをはじめとする海産物をPR。Iターン農家も参加し、販売物の袋に農園のチラシを入れるなどしてリピーター確保など、各種PRをしました。また、弓削の女性たちが作った佐島味噌・酢大豆等も人気を集めていました。やはり女性たちが丹精こめて作ったものは都会の女性たちにも興味を引いたようです。

町のホームページを見て、東京在住の町出身者の来場もあり、大変心強いエールをいただきました。やはりお店のお得意様へのハガキ案内だけでなく、郷里出身の方々への案内も必要に感じました。

キャンペーン最終日、昨年以下北沢で紹介を受けレモンとレモンハートの取引をしているレストランでは今後のレストランの食材として瀬戸内固有の魚や新品種の柑橘等などの食材探しのお話をいただきました。

このようにキャンペーンは様々な営業チャンスがあり、「人伝え」、フェイスツーフェイスが大切だと再認識しました。



COS下北沢



せとうち旬彩館

古典文学講座 「紫式部日記」を読む会開講！

11月6日から、平成19年度弓削中央公民館古典文学講座「紫式部日記」を読む会が開講しました。

今年度は、24名の参加者が集まりました。

本講座は、紫式部が宮中での日常をつづった「紫式部日記」を読み解いていくもので1回約2時間の講座を10回実施する予定です。

途中参加もできますので興味のある方は弓削中央公民館までお問合せください。



講座の様子！

生名小学校6年生 ^{うえむられい な}上村怜奈さん 走り高跳び女子の部で優勝

11月12日、愛媛県総合運動公園陸上競技場において、第20回愛媛県小学校陸上運動記録会が開催されました。生名小学校6年生の上村怜奈さんは、走り高跳び女子の部に出場し、134cmの記録で見事優勝しました。

この大会は記念大会であり、やり投げの日本代表選手である地元生名島出身の村上幸史さんがゲストとして招かれていました。

郷土の先輩の前での偉業おめでとうございます。



上村 怜奈さん

元気歯つらつコンクール！ 上島町から4名が入賞

愛媛県では、80歳を超えて20本以上の歯を保っている方を表彰し、歯や口腔の健康づくりに対する県民の関心を高め、その重要性を広く普及・啓発することを目的に毎年、「元気歯つらつコンクール」を実施しています。

今回、上島町内から4名の方が入賞されましたのでご紹介します。



村上恵美子さん（生名）



山本 福子さん（生名）



村上 貢さん（生名）



松村孫四郎さん（弓削）

歯は健康のバロメーター。歯が健康な方ほど体の健康状態がよいと言われています。歯の喪失を予防することが毎日を健康でイキイキと生活する秘訣です。

アイランダー2007で上島町PR

11月24・25日の2日間、東京都の池袋サンシャインシティ文化会館2階において、「アイランダー2007」が開催されました。

この「アイランダー2007」は、全国の島が一体となって、島の持つ自然・歴史・文化・生活などの素晴らしさをアピールし、交流人口の拡大、UJIターンの促進、離島地域の活性化を図ることを目的に行う離島と都市との交流イベントで、国土交通省の主催で、平成6年から毎年開催されています。今年は「島の宝をみつけよう！」をテーマに開催され、上島町をはじめとして、全国から47の島が参加し、それぞれの島のPRや島自慢の特産品の販売が行われました。

上島町も海苔やレモンなどの特産品を販売し、島をPRしました。期間中は多くの来場者で賑いました。



特産品販売ブースの様子！



ステージでは映像による島の紹介をしました！

ふるさと直送の愛あるフランド販売 ～えひめ産業まつり～

11月24・25日の両日、松山の県民文化会館において、恒例のえひめ産業文化まつりが開催されました。上島町は、弓削海苔や青いレモンなど二十数点に及ぶ特産品や手作り品を持ち込みました。各漁協や各グループの皆さんの力強い応援を得ながら、町のPRと即売に励みました。

会場には、数千人に及ぶ一般客はもとより、地元出身者や関係者の顔も数多く見られました。なじみの品をまとめ買いしてくださった上に、温かい激励の言葉が飛び交いました。二日目には、いくつも完売品が出るなどの盛況ぶりでした。

これらの出会い、触れ合いから得られた評価や反省の一つ一つを、これからの特産品開発と町づくりに生かします。



弓削海苔をはじめとする特産品販売会場の様子！

イノシシ被害防止対策セミナー

11月29日、せとうち交流館多目的ホールにおいて、「上島町イノシシ被害防止対策セミナー」が行われました。

『鳥獣害被害防止対策の基本—地域住民との関わりあいから—』をテーマに、広島大学大学院の谷田准教授が『広島大学地域貢献の取り組みとイノシシ被害調査から見える今後の課題』について講演され、続いて木場研究員が『ガーディングドックによる野生動物被害対策は可能か？』の二つの演題を、それぞれスクリーンを使って、イノシシの生態や被害調査、防止対策などについて説明されました。

この「上島町イノシシ被害防止対策セミナー」は、上島町において、農作物の被害や目撃情報が急増し、農業者や地域住民の不安が高まる中、専門家の講演により、イノシシの生態や被害防止対策を知ってもらい、今後の被害防止を進めていくことを目的に、今治地方局農政普及課の主催で行われ、町内の農業関係者らおよそ130名が参加しました。



岩城の西部港に上陸する雌猪
(11月撮影)



講演を真剣に聞き入る参加者

自己の限界に挑戦！ 弓削高耐久レース

11月20日、第26回弓削高等学校耐久レースが開催され、約20kmのコースで健脚を競いました。

これは、体力の向上と精神力の育成を図るとともに、郷土の自然に親しみながら自己の限界に挑戦することによって克己心を身に付けることを目的に、毎年開催実施されています。

この日は天候にも恵まれ、生徒たちは額に汗しながら、一生懸命に走っていました。



一斉にスタート！

地域密着型スポーツフォーラム 盛大に開催！

11月25日、生名島開発総合センター及びいきなスポレク公園蛙石野球場において、愛媛県プロスポーツ地域振興協議会主催による地域密着型スポーツフォーラムが開催されました。

第1部のセミナーには約70名の参加者が集まり、東北楽天ゴールデンイーグルスの地域密着推進部マネージャー 小野寺仁氏による「スポーツを核とした元気な地域づくり」と題した事例発表が行われ、球団が誕生し、開幕戦を迎えるまでの様々なエピソードや地域に密着した球団経営などについて話されました。その後、NHK松山放送局 アナウンサー 白鳥哲也氏をコーディネーターに「プロスポーツを活用した地域活性化方策」をテーマにした意見交換会が行われ、愛媛FC営業事業担当の後藤一弘氏、愛媛マンダリンパイレーツ 取締役の田室和紀氏、上島町から生名の新里博美氏、東北楽天イーグルスの小野寺仁氏も加わり活発な意見が交わされました。

第2部では、愛媛マンダリンパイレーツの選手6名の指導によって小中学生31人を対象に野球教室が行われました。途中、沖監督から「声が出てないと野球はダメ！もっと声を出して！」と檄を飛ばす場面も見られました。また、今秋のドラフト会議でオリックス・バファローズから育成選手として指名をうけた梶本選手のピッチングが目の前で披露されるなど参加した子どもたちは、大変貴重な体験ができました。最後に記念撮影とサイン会も行われ子どもたちは大満足していました。



沖監督からバッティング指導を受ける中学生



剛速球をバッターボックスから体験



活発な意見が交わされたセミナー



愛媛マンダリンパイレーツの選手と記念撮影

生名地区

生名地区クロッケー交流会 参加者募集中！

11月13日、生名ゲートボール場において「生名地区クロッケー交流会」が開催されました。

この交流会は生名体協ゲートボール部のメンバーが誰でも参加しやすいクロッケーを通して交流の輪を広げようと企画し、今回は婦人会から4チームの参加がありました。

参加者はボールがゲートを通るたびに体一杯に楽しさを表現していました。

来年の春には第2回目の交流会を行う予定です。皆様のご参加をお待ちしております。



第1ゲート通過！

人権を尊重した共生社会の実現！ 平成19年度弓削地区人権・同和教育研修会

11月7日、弓削高等学校において、上島町人権教育協議会主催による研修会が開催されました。

この研修会は、人権を尊重した共生の社会を実現するため、同和教育を中核とした人権教育の研究と実践に努めることを目的として毎年開催されています。

今回は、弓削高等学校での公開授業や人権・同和教育に関する取組を踏まえて、グループ別研究協議を行い、活発な意見交換がなされました。生徒、教職員、行政関係者、地域住民、一人ひとりが人権について再認識するよい機会となりました。



公開授業の様子！

～ひと足早く、正月料理講習会～ 上島町保健栄養推進協議会生名支部

師走を控えた11月30日、上島町保健栄養推進協議会生名支部では、生名保健センターにおいて、ひと足早い「正月料理講習会」を開催しました。

当日は、保健センター管理栄養士を講師に、魚介類を主に使ったお節料理8品を実習。参加者は、新しい料理をわが家の味に加えようと、熱心に質問しながら調理していました。



豪華御節完成！



参加者でおいしくいただきました

弓削地区

佐島地区自主防災会 「もしも」の為に、避難訓練実施！

11月11日、午前8時から佐島地区自主防災会の主催による避難訓練が旧佐島小学校などで実施され、228人が参加しました。

南海地震による津波警報が発令された想定で、防災無線で避難指示を放送。一時避難場所へ避難する中にはお年寄りに手を添えて避難する姿も見られ、自助・共助の精神で真剣に訓練に取り組んでいました。

訓練の後、体育館に移動して負傷者の搬送法講習が行われ、参加者は消防署員から身近にある折りたたみイスを使った搬送法や棒と毛布を使った担架の作り方などの説明を受けていました。



避難場所に集合した参加者



搬送法講習を受ける参加者

～秋の『ラージボール交流会』～ ナイススマッシュ！

11月11日生名体育館において、「ラージボール交流会」が開催されました。

普段の練習では顔を合わすことのない別々のグループの参加者や新たに参加する初心者が一堂に会して交流を深めること及び参加者のステップアップを目的に行われました。

参加者は生きがいつくりや健康づくりのため、気持ち良い汗を流し、交流を深めていました。



ナイススマッシュ！

食育教室（ぱくぱく・きっず）『食育事業』

11月28日、生名保育所において食育教室「ぱくぱく・きっず」を開催しました。今回のおやつ作りはスイートポテト。アツアツのお芋をつぶして砂糖やクリームを混ぜ、しぼり出して焼くと、風味豊かなポテトの完成！

続いて「早寝・早起き」をテーマにした紙芝居を見ながら、子どもたちは真剣な顔でうなずいていました。

二人で力を合わせてお芋つぶし



岩城地区

上島町老人クラブ連合会 第3回 カラオケ大会

11月25日、岩城生活文化センターにおいて、上島町老人クラブ連合会による第3回カラオケ大会in岩城が盛大に開催されました。

当日は、町内各地区老人クラブのメンバー約120人が集まるなか、代表39人がそれぞれのステージ衣装を身にまとい自慢ののどを披露し、大いに賑わいました。



熱唱する出演者

『大きくなーれ』弓削保育所食育教室

毎月19日は食育の日です。11月の食育教室では10月に保育所で種まきをした小松菜を収穫して、年長児17名が小松菜のパンケーキ作りに挑戦しました。保健栄養推進員のおばさんたちと一緒にミキサーを使ったり、ホットプレートを使ったりして楽しく調理できました。自分たちが手をかけ水をやり愛情いっぱいに育てた小松菜の味に子どもたちは歓声をあげていました。



こかぶの世話をする園児

来月は、こかぶを収穫の予定です。今日も、「大きくなーれ！」と声をかけながら水やりをしています。さてさて、こかぶはどんな料理に変身するのでしょうか。

魚島地区子育て講座！ 子どもの心と体の発達について

11月10日、魚島保健福祉センターにおいて第2回子育て講座が行われました。今回は弓削保健センターの菅原保健師を講師に招き「子どもの心と体の発達について」をテーマに、生活リズムと体のゆがみと発達について講話を聞きました。

後半は背筋力テストや背骨のゆがみチェックを行いました。子育てには体重の1.5倍、介護には2倍の背筋力が必要とあって、参加者は普段から筋力を鍛えること、姿勢を正すことなどの大切さを学びました。今回の講座は、親子での生活リズムを見直すよいきっかけになったと思います。



学校から地域へ！人権の花運動

11月30日、魚島保健福祉センター「龍宮苑」において人権の花の贈呈式が行われました。

この花は10月10日に、人権擁護委員の横井義弘さんからメッセージと共に魚島小・中学校に委ねられたものです。児童・生徒・先生方は花の色、バランスなど考えながら寄せ植えし、丹精込めて育ててくれました。人権の花は“花のリレー”として龍宮苑をはじめ、郵便局、役場等へも贈られました。



児童・生徒が育てた花の前でハイ！ポーズ！

紅葉ウォーキング開催

11月15日、弓削地区で紅葉ウォーキングが開催されました。せとうち交流館横の公園を出発し弓削大橋を渡って佐島までの往復5キロコースと、さらに久司山を越えて日比を回って帰る9キロコースに分かれて歩きました。秋晴れの空の下、色づきはじめた紅葉をみながらのウォーキングは気分爽快でした。生名地区からの40名をあわせ総勢121名の参加者がありとてもにぎやかでした。



受付をする参加者



皆さん笑顔でウォーキング

ウォーキングの後は、せとうち交流館において上島町保健栄養推進協議会弓削支部の協力で、美味しいうどんのサービスがありました。きれいにセッティングされたテーブルをかこみ、和やかに食事をして閉会となりました。



ウォーキングの後は、うどんで舌鼓

魚島地区

魚島保育所・小・中学校合同発表会！

12月1日、魚島開発総合センター5階において魚島地区の保育所・小学校・中学校の合同発表会が開催されました。

この発表会は、学校・保育所の交流を図り、地区住民に学習の成果を発表するため、今年から合同で実施されたものです。大勢の観客が見守る中、園児は踊りや劇、児童生徒は体験学習の発表などを行い、最後には全員で合唱を披露しました。

会場を埋めた家族のなかには、子どもの成長に思わず涙をぬぐうなど、ホットで楽しいひとときを過ごしました。



小中学生によるソーラン節



保育園児によるお遊戯



全員で合唱